

## 日高地区概況

平成31年3月1日現在

世帯数 9,537  
人口 23,166  
男性 11,271  
女性 11,895

※この概要是日高支所管内の統計による

## 第187号

発行日 平成31年3月20日  
発行 日高学区市民自治会  
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitaka.com/>  
代表者 志賀勝弘  
編集責任者 木田源一  
印刷 印刷 おぎつ

月12日に日高交流センターで開催されました。地元選出の議員さんをはじめ各所で活躍されている百十数名の方々が集まり、新年のあいさつを交わしました。志賀会長による福引きは、いろいろな神様の名をつけた景品が当たり大笑いでし

「新春初顔合わせ」が1月12日に日高交流センターで開催されました。地元選出の議員さんをはじめ各所で活躍されている百十数名の方々が集まり、新年のあいさつを交わしました。志賀会長による福引きは、いろいろな神様の名をつけた景品が当たり大笑いでし

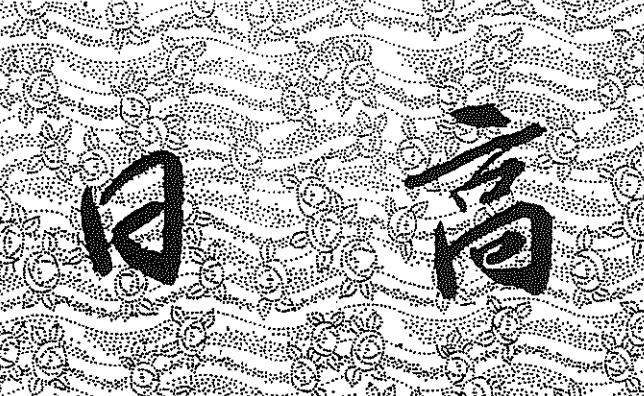
## 新春初顔合わせ・鳥追い祭り

功さんの万歳三唱で締めました。笑顔あふれる元気な日高のまちづくりのスタートとなりました。

また、1月14日には日高の三大行事の一つ「第25回日高ふれあい鳥追い祭り」が日高交流センター広場で開催されました。鳥追い祭りは、無病息災と五穀豊穣を祈願する行事です。どんどん焼きに餅つき、豚汁、甘酒、石焼き芋など美味しく頂きました。昔遊



いばラッキーくんと繭玉を飾り付ける皆さん



「質問に丁寧な説明で応じてくれました」

2月14日、日高交流センターで日高学区社会福祉委員会の健康講座が行われました。「お医者さ

まから認知症を学ぼう」と題して、

脳神経外科専門医で医

学博士の日立さくらクリニック院長工藤純夫先生を講師として招き、120人の受講者が認知症

人数からみると認知症の7割は80歳以上、そのまた8割は女性というデータがある。そうですが、これは決して女性が認知症になりやすいということではなく、女性は長生きの傾向があることや、男性に脳卒中の割合が多い傾向など様々な要因が考えられるそうです。

びコーナーで遊び、カラフルな繭玉飾りを作りました。講演はプロジェクターを使用してわかりやすく行われました。認知症は、誰もがかり得る病気ですが、予防ができる病気ですとの話に、受講生は安堵の表情で聴き入りました。

## 持つことで認知症を予防

について学びました。先生は地域医療に熱心にあたられており、2年前の福社講座でもお世話になつた人気の

異常症などの生活習慣病は、発症の要因になつてしまふそうです。また、「一番気になるのが、認知症に関する明るく前向きな情報です。前段階である軽度認知障害と呼ばれる方の46%が正常に戻れる」と、積極的にコミュニケーションを図る、未知の分野に興味を持ち続けることが大事のことです。

続いて、脳にゴミがたまり萎縮してしまう認知症、脳卒中による血管性認知症などの症状や、服薬についての説明がありました。講師のユーモアを交えたお話は「生活習慣の改善や運動習慣を身に付けたい」と受講生の心に響いたようです。

結びに、早期発見、早期治療の大切さ、発症してしまっても日立梅ヶ丘病院の「脳いきいきデイケア」や、日立市高齢福祉課の「認知症お助けマンチーム」など後ろ盾があるので安心ですと話してくださいました。

平成31年度  
日高学区市民自治会総会

4月13日(土)  
13時30分  
場所:日高交流センター

新しい年度の事業計画、予算を  
決める大事な総会です  
必ず出席してください

## 出席対象者

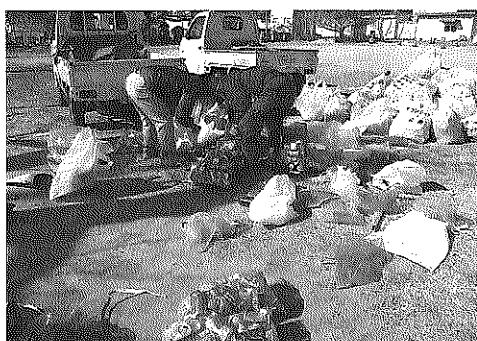
本部役員、  
新・旧正副支部長  
新常任委員、新自治委員

1月30日の役員会で次のことと協議しました。  
○日高学区高齢者クラブ連合会  
○書道・絵画展  
○日高文化協会  
○日高交流センター

○日高クリーンアップと連津川の清掃について  
○小木津山自然公園バードウォッチングについて  
○役員会の準備について

## 役員会報告

## 行事予定



回収したゴミを分別仕分けする環境部員

中華書局影印

2月17日、  
日高学区二  
斎のクリー

ンアップブザーが実施されました。朝8時から各戸一斉に町内のゴミ拾いを行い、指定された場所へ集めました。集められたゴミは環境部員が回収、日高交流センターの広場で分別仕分けし、清掃センターへ搬入しました。今回は軽トラック2台分、180kgのゴミが回収されました。年々回収されるゴミの量は減つきましたが、ここ数年はほぼ軽トラ2台

近年、お年寄や共働きの若い世帯から、自治会役員は負担が大変でつらいとの声が多く聞かれるようになります。役員の順番が回つてくる前に町内会を退会したり、中には、町内会そのものの存在意義を疑問に感じている人も多くなっています。

一方では、隣近所で顔を合わせても挨拶も出来ないような町にするわけにはいけない、という声も多くあります。市民自治会では、住民の支え合いのまちづくりは、どうしても必要と考え活動しています。

こうした実情を踏まえ自治会本部としても、支部役員の負担感の少ない事業や

組織の在り方を検討してきました。2月5日に開かれました臨時部長会議では、31年

## 【常任委員、自治委員の 負担の軽減について】

従来、町内会（自治会）の市報は、常任委員が各自治委員宅まで配りましたが、31年度からは、各自治委員宅までは、別に委託したボランティアの配布員が配ります。その先の各家庭への配達は、今まで通り各自治委員が配るか、特定の方に配るかなど、各自治会で配り方を決めます。

して、いたクリーンアップデーを、年1回の開催とします。

開催されて  
いた定期役  
員会議への  
常任委員の  
出席はなし  
とします。

東連津川をきれいにする会  
でも流域の「ゴミ拾い実践会」  
河川協会より感謝状受け取る

**東連津川をきれいにする会**  
でも流域のゴミ拾い実施  
河川協会より感謝状受ける

東連津川をきれいにする会でも、同日9時から、会員59名が参加し、流域のゴミ拾いを行いました。川の中州に流れ着いたゴミも拾い上げ、きれいになりました。きれいにする会の日頃の活動が評価され、1月31日に燃えるゴミはほぼ横ばいで減っていないようです。



### 「ミキタ」集める会

は「茨城県河川協会」より  
感謝状を受けました。

あり方や存続そのものについて、支部役員の負担軽減を含めて検討する特別委員会を立ち上げて、検討します。

左ノハニテイの集い

2月24日、

事例発表の後に、先進自治体の活動として、NPO法人「きらりよしじまネットワーク」事務局長高橋由和さん（岩手県）の講演「住民が創る地域運営組織とづくり」を聴講しました。

市民自治會 集豪康幹

私たちの街、ひたかを活性化させるため活動して頂ける人材を求めていきます。総務、企画、広報、スポレク、まつり、ふれあい、健康推進、青少年育成、環境、安心・安全、福祉の各分野があります。

一緒にやりましょう まちづくり  
あなたの連絡をお待ちします。

### 図4.3-4.5の連絡をお待ち下さい



フ ポーリ吹矢日高教室



一緒に吹矢をしませんか

毎月第一、二、三木曜日の三日間、午後1時～3時まで、日高交流センター2階の会議室は和やかながら緊張感に満ちたスポーツ吹矢の道場となります。最近マスコミにも多く取り上げられ、国体のデモンストレーション種目にもなりました。10メートル先の小さな的の中心を狙うこの競技には集中力と瞬発力が求められ、矢の速度は最高150キロになります。会場内には簡から矢が飛び出し、的に命中する際のシュツ、スパンという音が響き渡ります。この教室を主宰する茨城県スポーツ吹矢協会会長の小野千秋さん（080-5080-2810）によると、老若男女また障害者も可能で、ストレス解消やアンチエイジングの効果もあるそうです。現在日高教室には15名の会員が日々練習に励んでいます。（田所剛）

# 笑顔で清掃奉仕活動17年

## お疲れ様でした

日高学区社会福祉委員会  
ボランティア部では、平成14年4月から毎年特別養護

老人ホーム銀砂台の清掃奉仕活動を行つてきました。年々上がる平均年齢には逆らえず、今年度で区切り

をつけることになりました。逆らえず、今年度で区切り



皆さんの笑顔は宝物です

## 大政奉還の真意とは 文化講演会開催

2月16日、日高文化協会主催の文化講演会が、長年、徳川慶喜公の研究に取り組んでこられた、水戸史学会会長宮田正彦さんを講師に迎え、「大政奉還の真意」と題して開催されました。我々が思う慶喜公は大政奉還で「政権投げ出した」「戦いを放棄して江戸に逃げ帰った」などと決断力や責任感が無いなどの評価が

通説になつていますが、幕府が政権を朝廷に返上し、幕府から明治維新に至るまでの慶喜公の考え方や決断には、時代の先を見据えた水戸学からの誠の精神・行動があつたとの解説には歴史観を新たにしました。明治天皇が天地神明に誓い示された五箇条の御誓文は、明治政府の基本方針となり、これもとに日本が近代国家に向けての発展が進められました。

会場には、日高学区内内外から歴史に興味のある約100人



歴史講演会は大盛況でした

人の参加者があり、NHKの「西郷どん」の影響か皆さん楽しく拝聴されました。

## 正しく出しましょう 再生資源回収

日立市の再生資源集積所当番者の役割が、平成28年4月から簡素化されて3年が経過しました。立ち当番の負担軽減のため分別指導がなくなり、当番者は「用具の配置」と「用具の片づけ」だけとなりました。そのため再生資源を出す方が、決められた分別方法で所定の場所に出すことが大切になりました。ひとりでもこの決まりを守らないと、地域全体の人々に迷惑をかけてしまします。

最近、集積時間を守らない、

市立自治会健康推進部主催の「手作り味噌教室」が2月6日、日高交流センターで蛭田三雄先生を講師に迎えて行なわれました。参加者は30代から80代と幅広く、30人が早朝から準備された煮大豆に塩とこう

## 青少年健全育成のための市民の集いで日高小中生受賞

2月24日開催の「青少年健全育成のための市民の集い」で日高小中生4人が各部門において表彰を受けました。

ボランティア部今後の活動は、希望する高齢者宅にお弁当を届けるふれあい配食サービス、就園前の子育てを支援するおもちゃライブラリーを通して、地域の皆さんに笑顔を届けるお手伝いを続けていくそうです。

が印象的でした。自身の労作業を手伝つてもらい、本当に助かりました。今までありがとうございました」と、労いの言葉がありました。施設職員からは「細かな柔道を通して学んだことを」と、柔道を通じて成長していく自分の紹介家庭の日絵画・ポスター最優秀賞

小野瀬零 日高小4年  
「たこやきパーティ」  
\*家族団欒の様子をいきいきと描いています

鳥類の被害防止にネット張り脅し砲なくしづけし果樹園成人式の前撮りという家族写真両家の祖母は傘寿を超える歌舞伎座に『幸助餅』を観劇する人情味ありて心に沁みるこの秋も鉄の音もかるやかな庭師のつくるくろき松枝芳しき春の息吹よ露の薹摘みごろみつけ露味噌作る清水恵美子

少年の主張・体験文  
最優秀賞  
小幡蒼空 日高中3年  
「柔道を通して学んだこと」

△文豪ひたか

日高短歌会



4ヶ月後を楽しみに、期待を込めて混ぜ合わせる

出してはいけない物が出している、分別がされてないなどの苦情が寄せられる地区があります。今後ますます高齢化する社会の中で、再生資源回収事業を継続するためには、当番者の負担の軽減をする必要があります。みなさんの中にはいかがでしょうか。

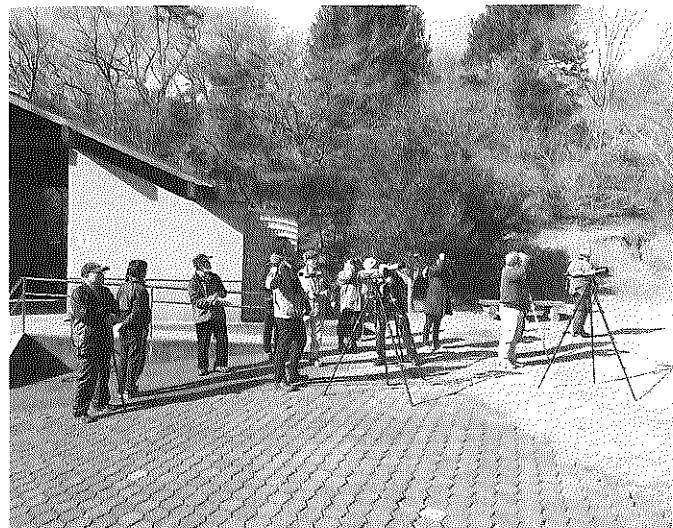
じを混ぜ合わせ、袋詰を行いました。後はめいめい家に持ち帰り、冷暗所で4ヶ月程寝かせると出来上がりとなります。

今年の講座参加者から、「この手作り味噌は家族の口に合い美味しいです」と好評です。

石川 幸夫  
太田 初枝  
川井けい子  
久保田絹枝  
鈴木百合江  
村尾 君代  
鈴木喜美子  
武  
石井 正子  
太田 初枝  
川井けい子  
久保田絹枝  
鈴木百合江  
村尾 君代  
鈴木喜美子  
武  
石井 正子

# 冬鳥何種類いるかな?

## 小木津山自然公園バードウォッキング



望遠鏡も設置完了。さあ、今年は何種類観られるかな

先月2月3日少し寒さが緩んだ暖かい一日、恒例のバードウォッキングが小木津山自然公園で開かれました。今年は初めての方3名を含めて20名の参加があり、日本野鳥の会会員の石川邦彦さん、瀬谷喜和さん、伊澤康彦さんの指導で午前9時から活動が開始されました。

## あの人この人

日高商店会会长  
志賀啓行さん(58歳)  
小木津町2丁目



### 商店会と地域の活性化をく

日高商店会会长の志賀啓行さんを紹介したい。志賀さんの店は県道10号線(いわき街道)西町バス停近くにある「ヤマザキY'Sショッピング」である。

東京の大学を卒業後地元に戻り、本来の仕事であるガス給湯器メークー「ノーリツ」ボイラーメンテナンスサービスの仕事を始めた。

25年前33歳の時、思うと

ころがあつて山崎製パンコンビニチェーンのフランチャイズに加入し現在の店を開業したという。

同時に日高商店会に入会し、若手経営者として商店会の発展に尽力した。

商店会も最盛期には40店を超える会員がいた。平成18年までは年末に駅前のゆりの木通りで暮れ市を開き、日高の風物詩となつた。そ

のうな中、志賀さんが会長職に就いたのは8年前の平成23年だった。『地域の活性化と商店会の活性化は一体。その様な活動を展開したい』と話していた。一方、市民自治会まつり部は、副部長として、おんもさ祭りなどでの活動をしている。志賀さんの父親は市民自治会3代目会長の二郎氏、兄は現在の安心・安全部長で、自治会活動一家である。志賀さんの両面に渡る活躍を期待します。(木田源二)

の後、急速な高齢化、社会情勢の変化などで後継者不足が顕在化し廃業が相次ぎ、会員は13店になつてしまつたという。

1月29日、日高小一年生の学習会「昔の遊びを楽しもう会」に日高学区市民自治会より11名がゲストティーチャーとして参加しました。児童たちはビー玉やあやとりなど11種類の遊びを体験しました。中でも全員に配られた手作りの「竹とんぼ」では、体育館内で思い切り飛ばし歓声をあげてい

## 輝かせる一年生



ゲストティーチャーの星完二さんからプレゼントされた竹とんぼを飛ばし、歓声を上げる児童

## 四季桜、日立紅葉からおぎつやよいへ

ました。全身で楽しんでいる児童を見て、ゲストティーチャーも満面の笑みでした。

## 伊藤一光氏ら受賞 市体協スポーツ賞

して食べていくので、開宣言は1月10日でした。満開は2月12日です。まもなくおぎつやよいが咲きます。

搬入します。年々集められるゴミの量は減っています。また、不法投棄監視活動で集められたゴミを私たち環境部員が回収、再分別し、市の清掃センターに

た。当日も野鳥が少ないのではと懸念されましたが、幸い地面に降り立つて餌をつけた瞬間、晴れ渡った青い上空を勇猛なハヤブサやノスリの姿を見ることができました。

私は自治会環境部幹事として、また市の委嘱を受け、日高学区内清掃活動日は各集積所に集められたゴミを私たち環境部員が回収、再分別し、市の清掃センターに不法投棄監視活動を行っています。

環境部副部長  
志賀孝二

## 東連津

るゴミも減つてきている様に感じますが、不法投棄されるゴミは大型のもの、あきらかに業務用と思われるもの等後を絶たず、明らかに減つたなど実感できるまでにはいたっていません。

ゴミ問題をはじめ自治会運営上様々な問題(高齢化による自治会退会など)について、妙案も出ず未解決のままです。

## 環境の美化だけでは無く

余裕はありません。自治会と一緒にになって少しでも前に進めたらと思っています。

まきました。全身で楽しんでいる児童を見て、ゲストティーチャーも満面の笑みでした。

公益財団法人日立市体育協会による平成30年スポーツ賞の表彰式が、2月23日に「池の川さくらアリーナ」で行われました。

日高学区内の受賞者は、スポーツの振興と発展に貢献した1名にスポーツ功労賞。また、競技団体やスポーツ少年団で、指導員などで永年にわたり活躍された6名にスポーツ奨励賞が贈られました。掲載は氏名、住所、推薦団体または母体の順です。

\*スポーツ功労賞

伊藤一光 日高町

市ダンススポーツ連盟

## 編集後記

今回車の運転免許更新にあたり高齢者講習(75歳以上)は認知症検査)が必須、改めて認知症に対し関心を持つようになりました。

幸いに更新出来たのでこれから3年間は運転をするが、自信と過信は紙一重なので自戒を込めて安全運転に徹したい。1面の認知症予防講演会は、大変参考になりました。(佐藤賢二)